

科目名	<b>数的推理 I</b>	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ)
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)
			全学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
			学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	<b>Mathematical Processing Skills I</b>	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年
ふりがな	むらなか たかし	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	村中 孝司	修得単位	2単位
授業のテーマ	公務員採用試験の教養科目のうち、最も出題数の多い数的推理に取り組む		
授業概要	公務員試験教養科目「数的推理」の基本を理解し、問題を解く。		
到達目標	数的推理マスター		
授業時間外の学習	小学校算数、中学校数学、高等学校数学 I・A を理解しておくこと。		
履修条件	公務員 (大学卒程度) を目指す学生であることを前提として授業を進める。基礎数学 I・II (総合科目群)、および公務員養成論 (経済学部専門科目群) を併せて履修することが望ましい。		
授業計画			
第1回	ガイダンス		
第2回	方程式①	文字式、等式、1次方程式、2次方程式の基本	
第3回	方程式②	方程式の文章問題	
第4回	不等式①	不等号、不等式の基本、連立不等式	
第5回	不等式②	不等式の文章問題	
第6回	方程式、不等式の実践問題		
第7回	整数①	自然数、倍数、約数、素数	
第8回	整数②	剰余類	
第9回	整数③	整数に関する応用問題①	
第10回	整数④	整数に関する応用問題②	
第11回	整数⑤	虫食い算、覆面算、魔方陣	
第12回	整数⑥	虫食い算、覆面算、魔方陣に関する応用問題	
第13回	整数⑦	記数法	
第14回	整数⑧	記数法に関する応用問題	
第15回	整数の実践問題		
第16回	定期試験		
テキスト	田辺勉『上・中級公務員 標準数的推理』実務教育出版		
参考文献・資料	講義中に紹介する。		
成績評価の方法	試験 (60%)、レポート・課題提出・小テスト (40%) 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・毎回の授業の冒頭に小テストを行います。 ・出席回数が規定に満たない場合は試験をうけることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、授業中に小テスト等を行います。</li> <li>・レポート課題は授業内又は掲示板で指示します。</li> </ul> <p>&lt;成績評価の基準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度以降入学者 秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)</li> <li>・平成 27 年度以前入学者 優(100～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)</li> </ul>
<p>オフィス アワー</p>	<p>火曜 14:40～16:10、金曜 13:00～14:30</p>
<p>学生への メッセー ジ</p>	<p>テキストの購入は必須。持参しない学生の受講は認めません。</p>